

株式会社SHOBE

バイク売却の田三郎

住所：〒652-0806 兵庫県神戸市兵庫区西柳原町

10-5 4F

電話番号：078-777-5320 担当者：西川

主要業務：情報通信業

ホームページ：https://bike-tasaburo.com/

目指すゴール



「バイク売却の田三郎」では、中古バイクを廃棄ではなく、リユースを促進することで「持続可能な消費と生産のパターンを確保する」というSDGsの目標の一つを達成したいというビジョンがあります。

また、バイクと地球が共生できる社会を目指しております。

上記は、ノースカロライナ大学のシャーロット校のサイトに掲載されている画像で、ドイツのノーフアー医科大学交通事故研究部のDietmar Otte博士によって集められたデータを基に作られています。

これはバイクでの交通事故の際に、ヘルメットのどこの部分に損傷を負ったのかというデータです。

このデータを見ると、額の部分が34.6% (19.4%+15.2%) で、後ろの部分も含めると、実に全体の38.6% (19.4%+15.2%+2.1%+1.9%) にもなるのです。

ヘルメットで守れる部分の割合は、わずか38.6% (0.4%+1.8%+1.8%+6.5%+8.2%+0.4%+1.7%+1.6%+10.1%+6.1%) しかなく、シールド付きジェットヘルメットの場合は61.4% (38.6%+5.7%+0.2%+5.5%+6.4%+0.6%+4.4%) となっております。

※ここでは、シールドがどこまで顔を保護してくれるのかという議論は除く

人体の急所とされている乳様突起（耳の後ろの隆起した骨）、そして強打すると脳震盪を起こす額へのダメージというのは、十分に守られるべき箇所と認識すべきです。

一部では原付スクーターでフルフェイスはダサイという考え方もありますが、日本の法律ではヘルメットでも問題ないというも事実ですが、以上のことを踏まえて、当サイトではフルフェイスヘルメットをオススメしております。

世界の道路交通事故による死傷者を半減させるための啓発活動。

SDGsの取り組み紹介

【3 すべての人に健康と福祉を】 SDGs3の6には、「2030年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。」という目標がありますが、当サイトでは安全なバイクの乗り方を啓発することで貢献したいと考えております。

【12 つくる責任 つかう責任】 SDGs12の5には、「2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。」という目標がありますが、当サイトでは中古バイクを廃棄ではなく、リユースを促進することで貢献していきたいと考えております。

【15 陸の豊かさを守ろう】 当サイトは、林野庁と国土緑化推進機構が取り組む「フォレスト・サポーターズ」に登録しており、森を支えるための募金であったり、普及活動をしており、SDGs15の「陸の豊かさを守ろう」に取り組んでおります。バイクに長く乗り続けるためにも、一人一人ができることをしていくことが大切だと考えております。